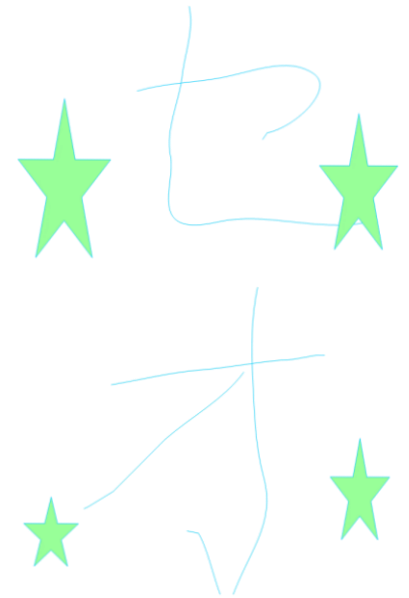


コンピューターウイルスについて

理学部

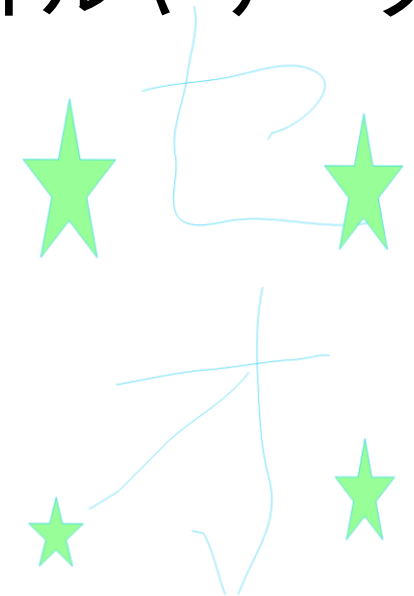
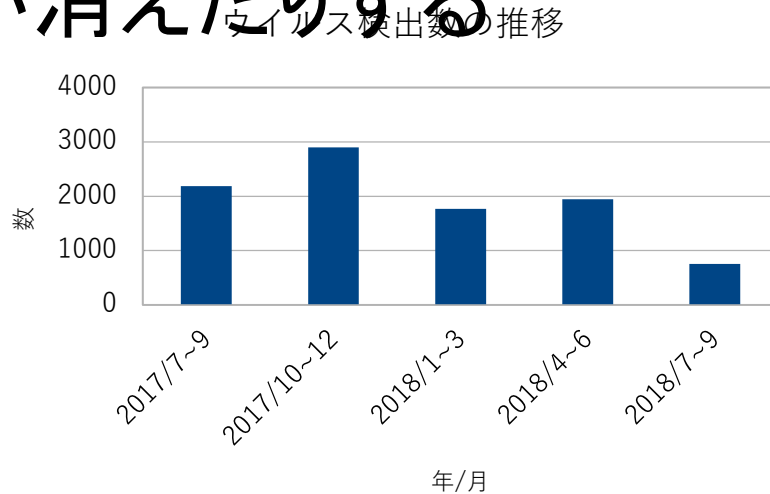
199-S2440

妹尾 慎一郎



コンピューターウイルスとは

- コンピューターウイルスとはコンピューターに被害を及ぼすウイルスのことであり、プログラムの間を感染するものを指す
- 感染すると個人情報流出したり、ファイルやデータが消えたりする



コンピューターウイルスの種類

・ファイル感染型ウイルス

- ・ **プログラム実行型ファイルに寄生・増殖**するウイルス。感染すると画面の至る所に邪魔なアイコンが表示されたりする。

・ワーム型ウイルス

- ・ メールやUSBメモリなどから感染し、**自己増殖**するウイルス。感染力が強いことが特徴。

・トロイの木馬

- ・ 悪意のあるプログラムではないように見せかけ、気づかぬうちにデータを破壊したり流出させたりする。**単独で動作可能**。

対策

・ソフトウェアを常に最新の状態にする

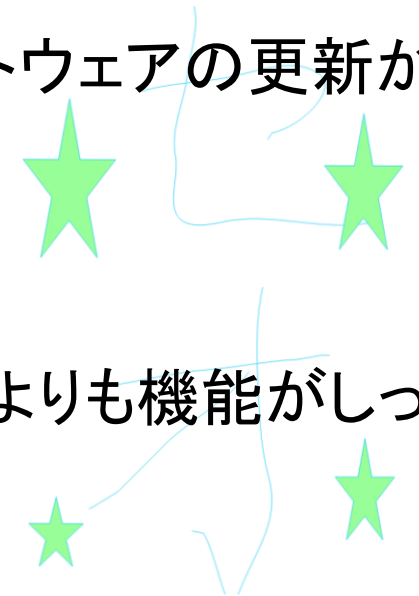
・『OSやプログラムは、その不具合をつかれてウイルス侵入に悪用されることがあります。』

・(<https://japan.norton.com/remotecontrol-virus-2993> 引用)

・このような被害を防ぐには不具合を修正し続けるソフトウェアの更新が必須である。

・ウイルス対策ソフトを入れる。

・なるべく有料のものを入れるほうが良い。無料のものよりも機能がしっかりしており、ウイルス感染を事前に防ぎやすい。



感染したら

- ① LANケーブルを抜きインターネットにつなげないようにする
- ② ウイルス対策ソフトを使いウイルスを除去する

このようにすることで感染拡大を抑えつつウイルスを除去できる



まとめ

- コンピューターウイルスには数多くの種類があり、それぞれ異なる特徴を持っている。
- 日常のちょっとした手間でウイルス感染を防ぐことができる。
- 感染しても落ち着いて適切な対応をすることが大切
- グラフ数値参考
- <https://www.ipa.go.jp/security/txt/2018/q3outline.html>

